

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末に向け、お供え用の花や正月用の門松などの需要があるため例年景気は良くなるが、様々なラッピングペーパーやガソリン代など経費が増加し、花の仕入れも上昇しているため今後の利益が危惧される。
	◎	住関連専門店（従業員）	・今後は冷え込みが進むことで羽毛布団などの高単価商材の需要が高まると期待している。
	◎	ゴルフ場（従業員）	・韓国からの予約が過去最高であった前年より予約が多いペースで推移している。それに伴い、単価も徐々に上昇している。
	○	商店街（代表者）	・年末商戦がしばらく続く傾向にあると予想され、少量ではあるが年賀状の印刷物の売上増加が見込まれる。
	○	商店街（代表者）	・物価高に若干慣れが出てきているが、政府の経済対策にも期待が高まり、消費行動は上向くと予想される。低所得者への対策を急がなければ、地方の商店街への効果が期待できなくなる。
	○	百貨店（営業担当）	・商品価格が上昇しても欲しい品を購入する姿がみられる。クレジット・友の会・プレミアム付商品券・コード決済の利用やポイント獲得で堅実な決済手段が浸透しており、年末に向けておせちの受注も順調となり品切れも発生している。今後は冬物衣料の展開や恒例の物産展、お歳暮商戦の開始で来客数が増加し、国内ツアーやクルーズ船寄港増加で国内外の人の流入を見込んでいる。
	○	百貨店（リーダー）	・年末に向けて、贈物や年末年始の準備の需要が高まるため期待できる。
	○	百貨店（営業企画担当）	・新たな景気対策の打ち出しや株価上昇等により、年末年始に向けて消費動向の変化に期待したい。
	○	百貨店（経営企画担当）	・2025年になり毎月来客数や売上の前年割れが続いていたが、今月は前年比100%を超える見込みである。少しずつであるが、購買に回復の兆しがみえ始めており2～3か月先は今年よりも良くなる見込みである。
	○	スーパー（店長）	・新政権になり物価高対策が加速化することが期待できる。ガソリン価格の下落や給付付き税額控除等で消費者に余力が出てくることを見越しており、今年の歳末セールでは期待をしている。
	○	スーパー（総務担当）	・気温の低下とともに鍋商材など生鮮品の売上が良くなっていくと予想している。また、例年、年末年始に向けても生鮮の売上が良くなる傾向がある。加えて、新政権の支持率が高いこともあり、株価が最高値を更新しており消費喚起にプラスの材料が多くなっている。政府による物価高対策が講じられれば、景気が上向くことも期待できる。
	○	スーパー（従業員）	・新政権に代わって、新しい経済政策が期待できる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・今後の物価高対策に期待している。
	○	家電量販店（従業員）	・急に寒くなり暖房の需要が増えたため、売上が若干良くなる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・年末年始に向けて新年の需要増加やマイナーチェンジ等もあるため、来客数が増える見込んでいる。
	○	乗用車販売店（役員）	・11月には年末商戦に先駆け大型イベントの企画をしており、来客数や注文数に期待ができる。
	○	乗用車販売店（代表）	・新政権誕生で経済が良くなることに期待したい。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・これから年末にかけてコーヒーの売上が多くなる時期となり、特に年末の需要は年間を通して1番大きな動きがある。また、インバウンドも若干増えており、2～3か月先の景気は良くなると見込んでいる。
	○	高級レストラン（経営者）	・来月、再来月は忘年会の時期となり1番の繁忙期である。徐々に予約が増えているため、今年より売上が良くなることは間違いないが、例年の年末の比較がどうなるか期待したい。
	○	一般レストラン（スタッフ）	・暑すぎた夏は終わり、気温も下がり年末需要に期待している。首相も代わり、これからの経済政策に期待している。

☐	スナック（経営者）	・積極財政を打ち出す内閣が組閣され、消費マインド上昇が見込める。
☐	観光型ホテル（総務）	・例年年末へ向けて景気が良くなる。
☐	観光型ホテル（支配人）	・前年並みの動きではあるが、新首相の対策に期待している。
☐	旅行代理店（統括者）	・株価も上がり、好業績の企業が増加するものとみられる。
☐	タクシー運転手	・ゴルフのイベントに期待している。
☐	タクシー（統括者）	・乗務員増加に特化した対策を短期的に実施することで、やや良くなると予想している。
☐	観光名所（従業員）	・通常、雨期や夏休みシーズン終わりのタイミングで来店客等が落ち着くが、本年はその傾向が薄く、閑散期に入る12月以降も例年以上の売上が見込まれる。
☐	観光名所（職員）	・秋のイベント開催が続いており、株価上昇で景気浮揚の気運が期待できる。
☐	美容室（経営者）	・年末になり、物価の動きや人の動きも多くなり、ファッション業界も向上するようにみられる。それと同時に活発な景気対策が行われると期待しており、ネット業界や商品の動きも活発になり景気は回復すると予想している。
☐	理容室（経営者）	・11月以降は業種的に年末に向け、徐々に来客数の回転率が良くなるため、売上も良くなると予想される。全般的に来客数は増えてくる状況であるため回復してくる。
☐	美容室（経営者）	・12月は1年で1番忙しい月となるが、厳しい状況には変わりがないため施策を講じてほしい。
☐	美容室（店長）	・新政権になったため、景気が良くなることが期待できる。
☐	住宅販売会社（従業員）	・将来的な景気について、新首相が打ち出した政策への期待感はあるが若干高くなっている。しかし、景気が良いのは株価だけになることも懸念している。
☐	商店街（代表者）	・季節の変化で気候に合ったものを購入するが、必要な物以外は購入しない傾向があるため景気に変化はない。
☐	商店街（代表者）	・商店街の専門店店は厳しい商況が続くと覚悟している。
☐	商店街（代表者）	・景気が良くなる要因がないため、やや悪い状況が続いていく。
☐	商店街（代表者）	・経済や社会的な環境について、消費者の不安の声をよく聞くため今後の景気も変わらない。
☐	商店街（代表者）	・季節が徐々に涼しくなっているが、今年の年末商戦は一段と激しくなると予想される。今年の当商店街では、前年と違い厳しい年末を迎えることが目に見えており、一層力を入れていきたい。
☐	一般小売店〔青果〕（店長）	・単価的に落ち着いているが、全国的に低温になった場合、きゅうりのように引き合いが強くなると予想される。北日本の玉ねぎ、人参などが農産物の全国15%程度を占めているが、高齢化や人員確保の問題、2～3年前からの飼料・燃料費の高騰に加えて、給食関係や小売で需要中心となるため、平均的に野菜の値段は高くなり、非常に厳しい状況が続くと判断している。
☐	一般小売店〔精肉〕（店員）	・人件費などの諸経費の高騰により、売上増加の効果を相殺しかねないため景気は変わらない。
☐	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・例年であれば年末に向けて多少の売上はある。新首相となり、今後の景気回復に期待したい。
☐	百貨店（企画担当）	・年末商戦に入るが、ギフト需要が余り見込めず、その傾向は変わらないと予想している。
☐	百貨店（企画担当）	・引き続き値上げ等が発生することが見込まれるため、現状と大きく売上は変動しない。
☐	百貨店（企画担当）	・新たな連立政権が樹立され、少数与党ではあるものの政権運営が安定して減税などの経済対策が実施される見込みが立てば消費が喚起されるとみられるが、実現性は不透明である。
☐	百貨店（経理担当）	・物価高の影響により全体的に苦戦を強いられている。宝飾等の高額商品は売れてはいるが、紳士及び子供関連の売上が特に苦戦している。インバウンド需要はやや回復傾向である。
☐	百貨店（業務担当）	・秋物商戦がないまま11月に突入しギフトや年末商戦に入っていくが、米や食材の値上げが落ち着いておらず、今は商品の価格が高いと刷り込まれている客が多く、財布のひもがより固くなっている。

☐	スーパー（店員）	・国政は変わりつつあるが、実生活は簡単には変わらないと予想している。給付金の配布も不明であるため、しばらくは今の景気状態が続く。
☐	スーパー（企画担当）	・参議院選挙以降、これまで政府の経済対策が行われず景気に特に変化がなかった。経済対策により景気が好転することもあるが、2～3か月では効果が望めず、変わらない状況が続くと見込んでいる。
☐	スーパー（経理担当）	・値上げによる単価上昇の影響により、買い控えを招く恐れがあると予想している。
☐	コンビニ（経営者）	・楽観的に考えた結果、値上げにより客がどこまで購入できるのかわ不安はあるが、当面は今のトレンドが続くと考えている。
☐	コンビニ（経営者）	・物価上昇対策が打たれることで年末年始の消費がプラスとなり、来客数や購入量が増加すると予想している。
☐	コンビニ（経営者）	・現状のままでは景気改善の要素は見当たらない。
☐	コンビニ（経営者）	・来客数が増加し売上も増加している。この状況は10～12月まで継続すると予想される。
☐	衣料品専門店	・良くなる要因を感じない。
☐	衣料品専門店（店長）	・景気が回復し、生活しやすい状況になることを願っている。
☐	衣料品専門店（取締役）	・新政権が安定するかはまだ不透明であるが、議員が政策に一致団結して取り組めば若干の希望はみえてくると考えている。今の段階では株が上昇しているだけで、実際の生活には何も変化はなく翻弄されないよう注視したい。
☐	家電量販店（店長）	・今月は業界全体がやや上向きであるが、要因がはっきりせず今後は不透明である。
☐	家電量販店（店長）	・毎月販売する商品に何らかの値上げが発生しており、消費者の収入が増えないため金を使う意欲が減少している。
☐	乗用車販売店（役員）	・メーカーの生産状況から受注可能車種が極端に少なくなっており、今後不安が残っている。一方、受注残からの配車は増加する見込みであるため、販売には期待したい。
☐	住関連専門店（経営者）	・10月に入っても食料品の値上げが続いているが、新首相に変わり経済対策が最優先課題となっている。しかし、効果が出るまでに時間が必要となり、効果が出るのか疑問である。置き家具業界は依然として低迷している。
☐	観光型ホテル（営業）	・景気は悪くはないと予測しているが、年度内は勢いに欠け、良くなる兆しがない。
☐	観光型ホテル（専務）	・団体客が以前と変わらず入ると予想しているが、寒くなるため客足に影響すると危惧している。
☐	旅行代理店（職員）	・12～1月の個人旅行の平均単価は上昇するが、集客が10月ほどないため売上は変わらないと予測している。
☐	旅行代理店（統括者）	・法人客では、新政権の発足により株価上昇となり、今後も堅調な需要が見通せる。一方、個人客では円安が進む傾向にあり、せっかく戻りつつある海外旅行需要が先行き不透明となる要素が増している。
☐	タクシー運転手	・首相が交代し、物価の安定と収入の増加を期待しつつも未知数であり、急激な変化は期待できない。
☐	通信会社（企画担当）	・しばらくは既定予算の執行や計画案件の消化が中心となる見通しで、景況感としては横ばいが続くとみている。
☐	通信会社（社員）	・前年比では良い状況にあるため、このまま3月まで維持できると予想している。
☐	通信会社（役員）	・新首相の打ち出す政策次第では改善する可能性はあるが、現時点では景気が好転する兆しが見えない。
☐	通信会社（企画担当）	・光回線の販売件数の低迷が続いており、解約件数と引き合っている。その状況が変化する兆しを見いだせていない。
☐	テーマパーク職員	・来客数の微増傾向が続いており、今後も現状が維持されると予想している。
☐	競馬場（職員）	・現時点では、変化を判断する要素は見当たらない。
☐	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・季節要因の影響により冬は売上が落ちるため、今月より若干悪くなるか、横ばいが予想される。
☐	設計事務所（所長）	・今月の仕事量ではやや良い状態が続くため、3か月先の状況は変わらない。

	□	設計事務所（所長）	・材料や製品の単価、人件費増加で、住宅の着工量が減っている。生活必需品の価格も上昇傾向であり、経済は世界情勢による影響が大きく、先行き不透明である。
	□	設計事務所（代表）	・新政権の対策次第である。
	□	住宅販売会社（従業員）	・一定数の客の動きはあるため、受注に関しては今の状況は続く。
	▲	商店街（代表者）	・株価は上昇しているが、一般消費者の経済は潤っていないため、買い控えが多くなると考えている。今後の政府の経済対策も先行きは不透明で、米国と中国の関係も不安定な状態を感じている。
	▲	スーパー（店長）	・物価の上昇が止まらず、所得増加が見込まれないため、消費意欲は一層減退し景況感は悪化する。
	▲	コンビニ（経営者）	・今後も給与が上昇する気配がない。
	▲	コンビニ（エリア担当・店長）	・年末にかけての予約商品であるおせちや冬ギフトは、まだ売上につながっておらず、単価上昇による値上げが原因とみられる。また、年賀はがきの単価も上がり、今年の年末年始の売上は余り望めそうにない。
	▲	家電量販店（店員）	・年末に向けて物入りの時期になるが、景気動向の変化は感じない。世界的に株高傾向にあるが、一部の急激な株高の影響を景気回復と捉えることは間違った考えである。
	▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・現在が特需となっており一時的に好景気で湧いているにすぎないため、映画館の好調が終わったタイミングでモール全体が落ち着いてしまうとみている。現在の好景気でもアパレル業種としては苦しい推移が継続しており、浮上の兆しはみえておらず、開発側からの販売促進支援等のソフト面を検討しているものの、外的要因まではカバーできないとみられる。
	▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・国内客の動きに影響を与える物価上昇は、新内閣でも継続しており、むしろ加速すると予想するが、2～3か月では物価高対策の実施と効果が出ないと予想している。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・ホテルにとっては10月や11月が繁忙期であり、年間でも需要が高い月である。1～2月もインバウンドの需要は高いと予想されるが、単価などは下がる見込みである。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・天候にもよるが、急な寒気で客足が鈍ることが心配である。
	▲	ゴルフ場（営業）	・例年、1月の来客数は少ないと見込んでいる。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・他業界の賃上げにより介護業界との賃金差が更に広がっており、現時点でも困難な採用環境が一層厳しくなってくることが想定される。それにより会社のサービス提供量が減少し、減収につながる可能性がある。
	▲	住宅販売会社（代表）	・集客や金利引下げ、補助金など景気対策の効果がなければ悪くなる一方と考えられ、現状として良くなる好材料がない。
	×	—	—
	◎	—	—
企業 動向 関連 (九州)	○	化学工業（総務担当）	・損益は前年比で回復傾向にあり、同様の状況が続くと予想している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・2～3か月の状態から判断すると、受注量が不安定であったため在庫量が少なくなっていると予測される。そのため、その補充が考えられ、少しずつであるが良くなると予想している。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・当社では打ち上げられた人工衛星の小衛星の製作の一部機器を担当しているが、次回の搭載も計画されており、次世代を担う従業員へのアピールになるとみている。現状の仕事だけでなく、明るい将来に投資することも重要である。
	○	輸送業（従業員）	・年末に向けイベントも多くなり、周囲の動きは多少良くなる。
	○	輸送業（総務担当）	・相変わらず自動車関係の貨物については荷動きが悪いが、全体的に物量が増え始めている。政府による物価高騰経済対策に期待している。
	○	金融業（営業）	・新首相の誕生と株価の史上最高値など明るいニュースが多いため、物価高による景気後退は懸念材料であるが、所得も増え現在のところ心配はしていない。
	○		

○	金融業（営業担当）	・新たな首相が誕生し、物価高対策を始めとした景気対策に期待している。
○	新聞社〔広告〕（担当者）	・新内閣に期待をしている。
○	経営コンサルタント（社員）	・パンフレット配布の成果に期待している。
□	農林水産業（経営者）	・多少の懸念材料はあるが、これから年末年始に入るため消費は期待できると予想される。しかし、原料となる鶏が3年前の鳥インフルエンザの影響により若干少なくなっているため、工場稼働への影響や供給にも影響を来すことが考えられ危惧している。今年は既に発生している地域があり、3年前のような大きな被害がないことを祈っている。
□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・受注見込みから判断すると景気は変わらない。
□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・製造業であるため、ふるさと納税が直接収益に響く状態になっており助かっているが、今後少し落ち込むのではないかと危惧している。
□	金属製品製造業（事業統括）	・これ以上景気が良くなる要因が考えられない。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客の業績目標情報からは、変わらないと予測している。
□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客先の生産台数は、上期の増産の結果、下期も予算より上振れ傾向が続く。
□	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・年内での動きは望めないが、来年には少しずつ増産できる見通しである。
□	輸送業（従業員）	・物流施設が続々と着工・しゅん工しているが、満床になる施設は少なく料金を下げて入居してもらうことも視野に入れなければいけない状況である。特に、当県やその近隣では施設数が多く、消費地のため需要はあるが料金をできるだけ抑えたい荷主が多く、契約まで時間が掛かる状況になっている。
□	通信業（職員）	・公共工事については年度末に工期のものが多く、今後の発注量は多くないと予想される。民間工事でカバーできる量にも限界があり、状況が大きく好転する可能性は低い。
□	通信業（経理担当）	・賃借しているオフィスに関して、首都圏のみならず地方都市の物件についても、貸主から賃料の値上げ要請が続いている。今後の交渉次第ではあるが、ある程度業績に与える影響が出てくると考えている。
□	通信業（統括者）	・顧客のビジネスリスクへの対応に関する投資については一定の伸びはあるものの、積極的な設備投資について意欲的とは言い難く、景気に大きな変化はない。
□	金融業（経営者）	・受託調査の引き合いがなく、他の調査会社においても同様の傾向である。
□	金融業（調査担当）	・関税の影響を見極める状況が続き、状況を把握しながらの現状維持が見込まれる。
□	金融業（調査担当）	・新政権の経済政策等に期待する声を聞くものの、物価高の影響は企業の生産活動や個人消費など多方面に及んでおり、景気については、当面は現状の水準での推移を見込んでいる。
□	不動産業（経営者）	・この先の仕事の受注内容等は、現在と余り変わらず現状維持である。
□	広告代理店（役員）	・2～3か月先を押し上げる要因は、現時点では明確ではない。
□	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に大きな変化がない。
□	経営コンサルタント（社員）	・消費者の購買意欲が、安い商品にシフトしている。
▲	家具製造業（従業員）	・情報や案件により、年内までの景気はやや下降を予想しており、年明けから年度末に期待している。
▲	広告代理店（従業員）	・新聞広告・折込広告業自体が全体的に前年割れの状態となっており、今後もこの傾向は続くと言われる。新内閣が発足したがその効果も限定的であり、3か月後もやや悪い状態が続く。

	▲	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・今年度の高齢者や障がい者に関する調査、計画策定以外の業務は、9月の補正予算でも計上されたものが少なく、今後は発注される業務が少ないと予想されるため、景気がやや悪くなるとみられる。
	×	繊維工業（営業担当）	・毎月倒産や閉鎖をしている企業があり、このままでは1年もたないところが多いと予測される。1500円まで賃金が上昇するのであれば、それまでに工場はほとんどなくなると危惧している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・需要低迷の状況は今しばらく続くとみられる。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・年末に向けて、需要が見込まれる。
	□	人材派遣会社（社員）	・年末年始の休暇もあり、求職者の動きや派遣受注等の動きも再度鈍くなる。しかし、年末年始は繁忙期となるため販売等の需要や業務対応などの問合せにも動く可能性があるため、景況としては変わらず横ばいを予想している。
	□	人材派遣会社（社員）	・先行きが不透明となっており、雇用の求人数が大きく増えないと見立てている。
	□	新聞社〔求人広告〕（社員）	・行事やイベントを含む季節需要が景気上昇につながる事が期待できる。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・消費税やガソリン税など減税の声もあるが、すぐに効果は出ないとみられる。景気が国の経済政策などに左右されるようであるが、当面良くも悪くもない今の状況が続くと予想される。
	□	職業安定所（職員）	・全体の求人数は減少しているものの、リゾート施設や娯楽業、農林漁業、運輸業で前年より新規求人数が増加している。最低賃金の発効後の動きを注視する必要がある。
	□	職業安定所（職員）	・新規求職者数及び新規求人数は前年比で微減の状況である。人手不足は継続しており雇用状況の急激な変化は見受けられない。
	□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・米国の政権が打ち出す、米国への輸出品に対する関税措置や自国優先主義を前提とする政策、米中貿易交渉の先行きへの不透明感など国際経済の不確実性を高めている。また、国内では、新内閣の政権運営能力や少数政権政党としての衆参両議会の議会運営も困難が予想され、先行きの不透明感が非常に強い。為替相場や株価も大きく影響を受けており、物価高騰は収まる気配がなく、実質賃金が大幅に改善する見通しも立たないため、景気が上向き実感がない。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・物価上昇が続いており、消費者の節約志向が更に続くため、身の回りの経済活動全体がやや鈍化する可能性がある。
	▲	人材派遣会社（社員）	・年末年始は求職者の動きが若干落ち着いてくる。お歳暮関係の短期派遣の注文が入る時期であるが、新規での問合せではなく、既存客からの注文のみである。また、人数についても前年と同じ人数で賄える程度である。
	▲	人材派遣会社（社員）	・いよいよ最低賃金引上げが実施されるが、その結果として採用抑制や求人に制限を掛ける企業が増えると予想している。
	×	—	—